

このまちの100年

「立川」

立川飛行場が開設されたのち、軍都として発展。戦後は米軍基地の街としてにぎわいます。基地返還後は跡地に公園や商業施設などが誕生するとともに市街地の再整備も進み、更なる発展を見せています。



昭和初期頃

大正15年、道路橋の日野橋が開通。江戸期より続く日野の渡しは廃止された



昭和4～6年頃

東京の空の玄関となった、立川飛行場



昭和6年

多摩川橋梁。橋脚には、日野煉瓦製造所で作られた約20万個の煉瓦が使われた



大正期～昭和初期

立川駅前にあった料亭の塚善は、昭和初期まで営業していた



昭和7年頃

立川駅北口の駅前から北に延びる、仲町通りの様子



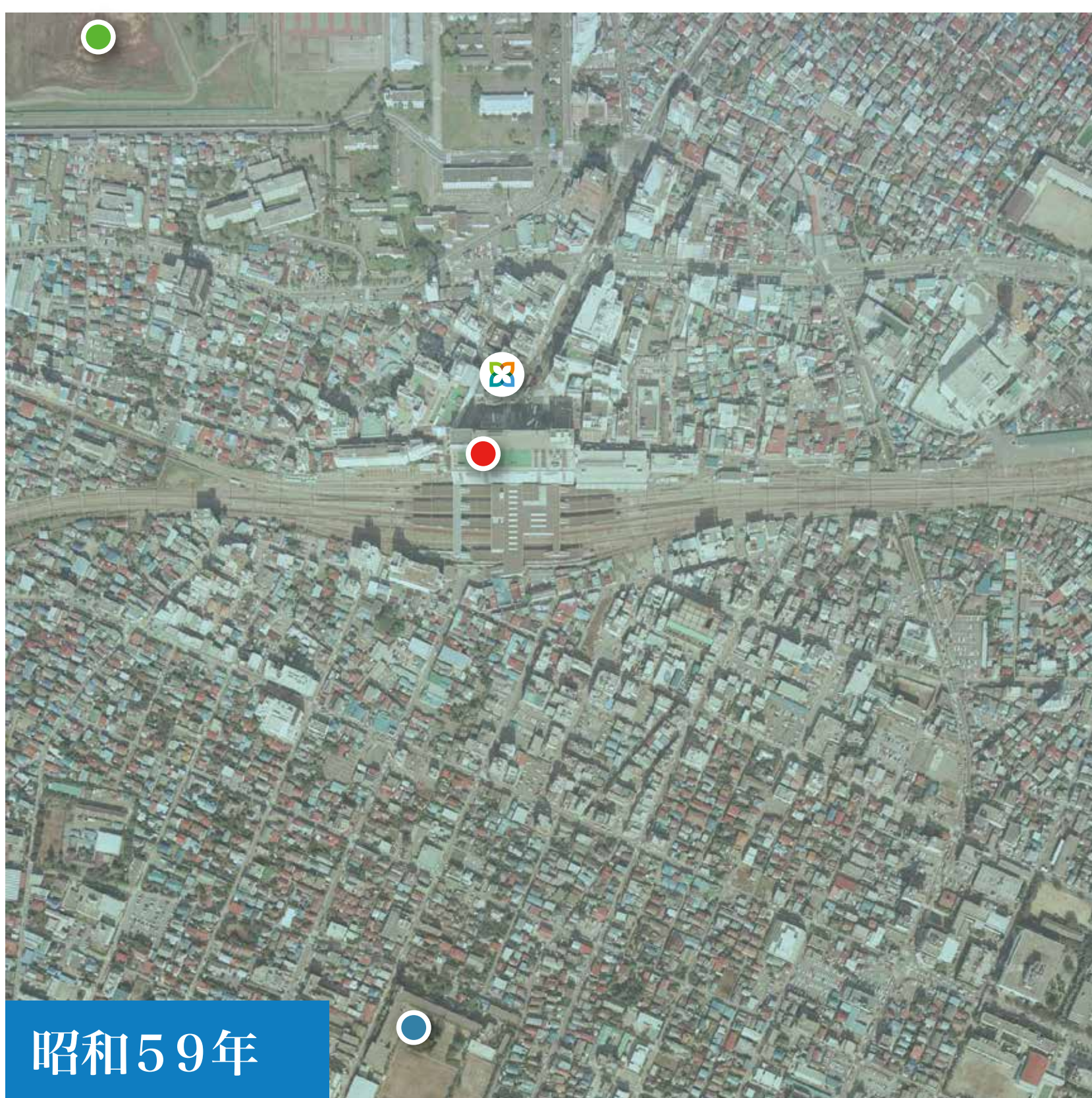
昭和25年頃

立川駅では建物疎開が行われ、戦後、この空地整備が北口の街づくりの原点となった

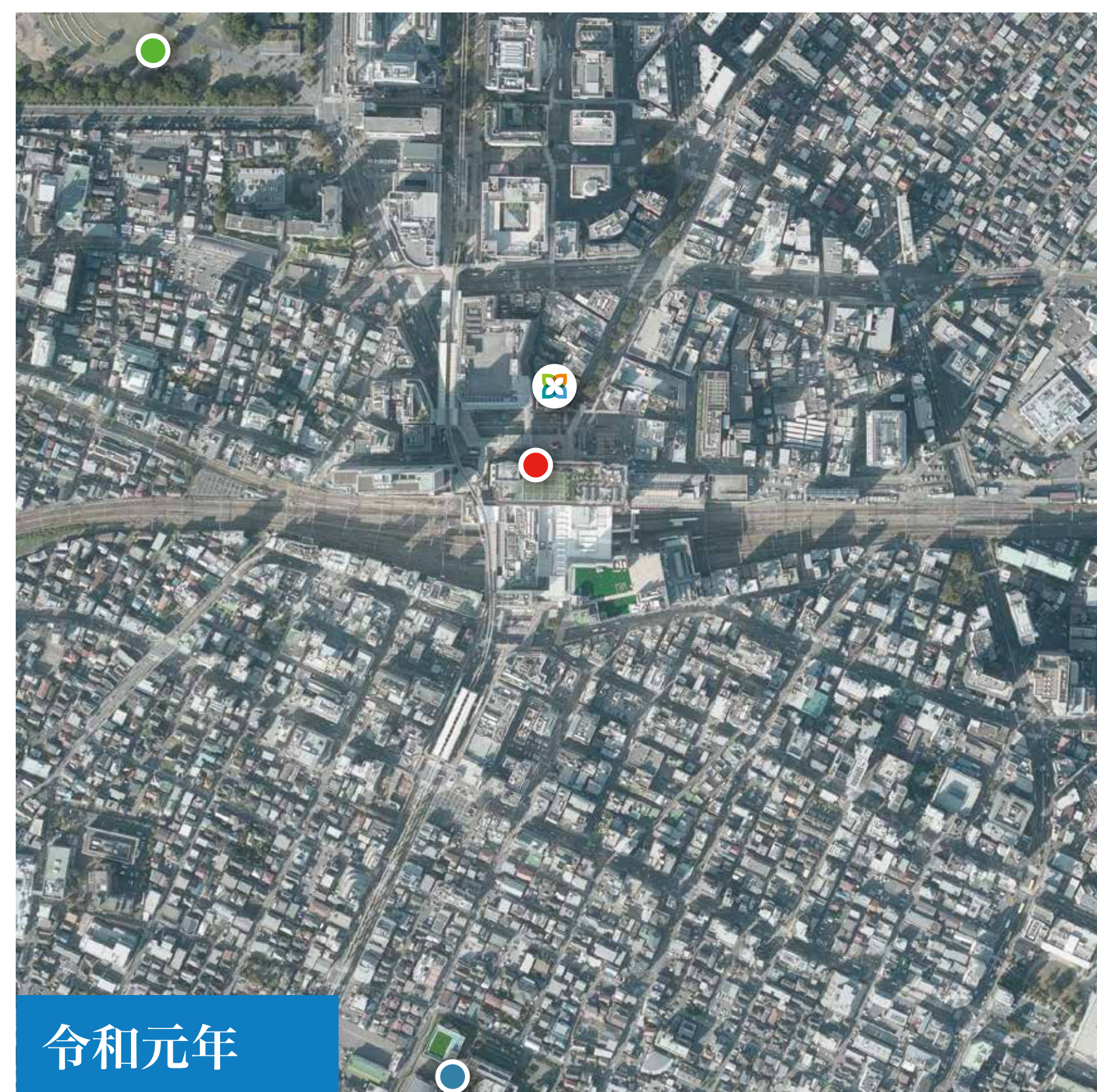
上空からみた立川エリア



昭和22年



昭和59年



令和元年

●：現在地
●：東京都立第二中学校／東京都立立川高等学校 ●：立川飛行場／昭和記念公園 みどりの文化ゾーン ●：立川駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ